



仮設電源サービスの契約変更について

会場整備局

2020年3月25日

審議事項

- 既契約案件である仮設電源サービスについて、オリンピックスタジアム用設備の追加や札幌移転、FA要望負荷の追加・仕様変更による仮設電源設備追加に伴い、契約金額の増額変更を実施する。

仮設電源サービス契約概要

- 件名： 仮設電源サービス契約
(共同実施事業対象案件)
- 受注者： アグレコイベントサービスジャパン株式会社
(東京2020オフィシャルサポーター Tier3)
- 内容： 全会場における仮設電源の設置および撤去、
維持管理、運用
- 契約日： 2018年12月13日

背景・経緯

- 2018年12月の当初契約では、まだ大会時に各FAが使用する機器詳細が決まっていな中で、大量の仮設電源設備の製造・輸送スケジュールを考慮し、想定値や過去大会の知見を用いた基本設計を元に発注・契約を行った。
- 2019年7月に受注者による詳細設計が完了し、負荷やケーブルルートの精査を行った結果により、2019年9月時点で契約金額の増額変更を実施した。
- 2019年9月以降、各FAから新たな電源要望や仕様変更が発生したため、追加の詳細設計を実施し、2020年4月末時点で設計金額が現契約金額から増額となる見込みである。
- 今後発生する電源の追加要望に対しては、その必要性の精査を徹底して行い費用増加を抑制する。

増額内容

【12月末時点 増額変更】

開閉会式用電源の追加

車両充電設備や競技計測機器など他FA要望電源の追加、仕様変更による機器変更・追加

消費税率変更による増加（8%→10%）

【追加詳細設計完了による増額変更見込み】

札幌移転による増額

暑さ対策施設等の負荷増加による機器変更・追加

テストイベント等によるリース期間の前倒し

その他鉄板養生等、施工調整による変更

費用削減の取り組み

- テストイベントにおいて計測した電気使用量の実績を踏まえて、各FAからの要求負荷の精査を実施した。
- 負荷精査によって生じた機器の予備品を、別途追加となった設備の代用品として活用している。
- 負荷の増加等により増えた機器に対して、この予備品を活用することで、費用の削減を実現した。

契約変更内容

- 詳細設計の内容を反映した単価・数量表の更新
- 札幌移転による機器増加、オリンピックスタジアム用電源の追加
- 契約金額の変更

ただし、現時点で未確定の金額については、金額確定後、契約変更前までに改めて作業部会において確認する。